

月	編	配当時間	学習内容	学習のねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法
4月	現代を生きる自己の課題	序 第1編 6	人間とは何か	さまざまな人間観の理解を通して人間の多様な在り方に思索を向けさせるとともに、人間存在への問いから現代の諸課題を探究することを理解させる。	人間観に関するさまざまな概念を理解し、説明することができる。	人間存在への問いから現代の諸課題を解決する手がかりを考察しようとしている。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究しようとしている。	【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料や芸術作品などからの読み取り、小テスト 【主体的な態度】ディスカッション、レポート
			第1章 個性的な主体としての自己		パーソナリティに関するさまざまな理論を理解し、個性や人間の行動を多面的・多角的に説明することができる。	個性や行動の原因に関する心理学的な知見から、人間存在及び他者と共によりよく生きる自己の生き方についての考察を深め、適切に表現することができる。	パーソナリティに関する理論を手がかりにして、自己の課題や人間としての在り方生き方について主体的に追究しようとしている。	【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料や実験や観察、統計的なデータなどからの読み取り、定期テスト 【主体的な態度】ディスカッション、レポート
			1 心の機能と個性	心のあり方を科学的に探究してきた心理学の知見を手がかりに、個性やパーソナリティに着目して、青年期の課題を踏まえ豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深める。				
			2 パーソナリティの形成と「私」					
			第2章 心と行動をめぐる探究		欲求、感情、認知、発達に関するさまざまな心理学的な知見を理解し、個性や人間の行動を多面的・多角的に説明することができる。	意欲、動機づけ、知覚、学習、記憶、問題解決、推論、道徳的判断、発達などに関する心理学的な知見から、人間存在及び他者と共によりよく生きる自己の生き方についての考察を深め、適切に表現することができる。	さまざまな心の在り方に関する理論を手がかりにして、自己の課題や人間としての在り方生き方について主体的に追究しようとしている。	【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料や実験や観察、統計的なデータなどからの読み取り、定期テスト 【主体的な態度】ディスカッション、レポート
			1 人間の活動を支える心	心のあり方を科学的に探究してきた心理学の知見を手がかりに、欲求や感情、認知、発達に着目して、青年期の課題を踏まえ豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深める。				
			2 認知のしくみ					
			3 生涯にわたる発達					
5月	第2編 人間としての自覚	4	第1章 哲学の起源:ギリシア思想		古代ギリシアの先哲が論じた人間観や人生観を、原典資料から適切に読み取り、理解を深めることができる。それらの諸概念を自己の課題と結び付けて説明することができる。	古代ギリシアの思想の知見を用いて、人間存在及び他者と共によりよく生きる自己の生き方についての考察を深め、適切に表現することができる。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究しようとしている。	【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料の読み取り、意見発表、定期テスト 【主体的な態度】ディスカッション、レポート
			1 神話から哲学へー自然哲学者たち	・西洋社会の根幹にあり、現代の合理主義の由来となる古代ギリシアの思想の知見を手掛かりに、幸福、愛、徳に着目して、人間としての在り方生き方についての思索を深める。				
			2 知と徳をめぐる問いーソクラテス	・古代ギリシアの理性をもつ人間という人間観の理解を通して、自分の考えを論理的、批判的に吟味する力や対話する力などを身につけることが大切であることを自覚させる。				
			3 理想主義的なあり方ープラトン					
			4 現実主義的なあり方ーアリストテレス	・ソクラテスの思索が人間としての自覚の第一歩であることを自覚させ、各自の人生への問いと結び付けて考察させる。				
			5 幸福をめぐる問いーヘレニズムの思想	・プラトン、アリストテレス、ヘレニズムの思想が人間の存在や価値をいかに論じたかを理解させ、自覚ある人間観を形成しようとする。				
		4	第2章 唯一神の宗教:キリスト教・イスラーム教		ユダヤ教、キリスト教、イスラーム教の倫理に関する諸概念を、原典資料から適切に読み取り、理解を深めることができる。それらの諸概念を自己の課題と結び付けて説明することができる。	イエスの言行やパウロの言葉、古代・中世のキリスト教神学の知見を用いて、人間としてのよりよい生き方についての考察を深め、適切に表現することができる。	宗教における倫理に関する諸概念の学習を通して、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしている。	【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料の読み取り、意見発表、定期テスト 【主体的な態度】ディスカッション、レポート
			第1節 愛の教えーキリスト教	・世界宗教としてのキリスト教とイスラーム教の知見を手掛かりに、幸福、愛、徳に着目して、人間としての在り方生き方についての思索を深める。				
			1 ユダヤ教	・ユダヤ教、キリスト教、イスラーム教のー神教が神と人間の関係をどのように捉えたか、相互の比較を通して理解を深める。				
			2 イエスの思想	・キリスト教の原罪や恩寵を特徴とする人間観や神の愛や隣人愛の理解を通して、自己の課題と結び付けて考察させる。				
			3 世界宗教への展開	・イスラーム教の宗教的な義務や戒律などの倫理に関する諸概念の理解を通して、共同体の在り方や人間相互のつながりについて自己の課題と結び付けて考察させる。				
			第2節 戒律と平等の教えーイスラーム教					
	人間としての自覚		第3章 東洋思想の源流:仏教・儒教		仏教、儒教、道家の思想の倫理に関する諸概念を、原典資料から適切に読み取り、理解を深めることができる。それらの諸概念を自己の課題と結び付けて説明することができる。	『論語』『孟子』など原典資料の読解を通して、人間としてのよりよい生き方についての考察を深め、適切に表現することができる。また、性善説や性悪説といった対立する視点から現代の様々な課題を考察する。	仏教や儒教における倫理に関する諸概念の学習を通して、人間について深い洞察をおこない、また共感的理解の重要性について理解しようとしている。	【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料の読み取り、意見発表、定期テスト 【主体的な態度】ディスカッション、レポート
			第1節 智慧と慈悲の教えー仏教	・世界宗教としての仏教の知見を手掛かりに、幸福、愛、徳に着目して、人間としての在り方生き方についての思索を深める。				
			1 パラモン教	・仏教の人間観や人生観を理解し、生の苦悩とその克服といった課題を、自己の課題と重ね合わせて考察させる。				

6月		5	2 仏陀の思想	せる。 ・仏教の生命あるもの全てに対する慈悲の教えを通して、共同体の在り方や人間相互のつながりについて自己の課題と結び付けて考察させる。 ・孔子や孟子の言行や宋学の思想の理解を通して、人間についての見方や、望ましい人間関係の在り方について自己の課題と結び付けて思索を深める。 ・老子や荘子の思想における人間観を理解し、人間としての在り方生き方についての思索を深める。					
			3 仏教とその後の展開						
			第2節 仁と礼の教え—儒教						
			1 儒家の教え						
			2 儒教の展開						
			3 道家の思想						
1	第4章 芸術と倫理			作品の特徴や作品の社会背景などから、芸術家が作品に込めた問いや思想などを読み解くことができる。	芸術作品を通して、人間としての在り方生き方について思索を深め、適切に表現できる。	美を求める心が人生を豊かにするものであることを理解し、美の概念を自らの生き方と関わらせて主体的に追究しようとしている。	【知識・技能】【思考・判断・表現】芸術作品の読み取り、意見発表、【主体的な態度】ディスカッション、レポート		
		・自分自身の内面に美を求める心があること、それが人生を豊かにするものであることを理解させる。 ・絵画や造形芸術、伝統文化などの作品や原典資料を手掛かりに、美の概念を自らの生き方と関わらせ、芸術とは何か、芸術が人生や社会に与える影響がどのようなものか、などについて思索を深める。							
7月	1	第1章 近代の成立			合理化や進歩、進化といった近代の特徴を示す概念を説明できる。	合理化や進歩、進化といった近代の特徴を示す概念を通して、現代の倫理的課題を自己の課題として多面的・多角的に考察し、適切に表現できる。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について、近代の人間観や世界観を通して主体的に追究しようとしている。	【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料の読み取り、小テスト、【主体的な態度】ディスカッション、レポート	
			・現代社会を根本から考えなおすための手掛かりとして、西洋の近代の特徴を理解させる。 ・合理化や進歩、進化という概念から現代の諸課題を考察させる。						
8月	3	第2章 世界と人間をめぐる探究			ルネサンスや宗教改革、モナリスの思想家らの人間観に関する基本的な知識を身に付けている。ルネサンス期の絵画や造形作品を通して、近代の人間像を読み取ることができる。『エッセー』『パンセ』などの原典資料から、人生の意味や価値を適切に読み取ることができる。	ルネサンスや宗教改革、モナリスの思想家らの様々な人間の見方や人生の捉え方を通して、人間としての在り方生き方について思索を深め、適切に表現できる。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について、自己の人生観や人間観と結び付けて主体的に追究しようとしている。	【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料や芸術作品などからの読み取り、定期テスト【主体的な態度】ディスカッション、レポート	
		第1節 人間の尊厳							
		1 ルネサンスとヒューマニズム	・人間の尊厳を論じたルネサンス、宗教改革、モナリスの思想を通して、幸福、愛、徳に着目して、人生への問いや人間の存在や価値について、自己の課題と結び付けて考察させる。						
		2 宗教改革と人間の内面							
3 人間の偉大と限界									
9月	第3編 現代をかたちづくる倫理	3	第2節 真理の認識—経験論と合理論			近代科学の思考法、ベーコンの経験論やデカルトの合理論に関する基本的な知識を身に付けている。それらの思想家の原典資料を適切に読み取ることができる。	近代科学の思考法、経験論と合理論の真理観や世界観を通して、現代の科学技術の在り方や、人間がよりよく生きていくために何が重要かについて思索を深め、適切に表現できる。	真理や存在について、自己の生き方や自然と人間との関係に結び付けて考察しようとしている。	【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料や芸術作品などからの読み取り、定期テスト【主体的な態度】ディスカッション、レポート
			1 近代科学の思考法	自然と人間との関わりや世界を捉える知の在り方を論じた近代科学の思考法、経験論と合理論を通して、真理や存在に着目して、人間の認識と経験を考察させる。					
			2 事実と経験の尊重—ベーコン						
		3 理性の光—デカルト							
		5	第3節 民主社会と倫理			ホッブズ、ロック、ルソーの社会契約説、ヴォルテール、モンテスキューら啓蒙思想家、カントやヘーゲルのドイツ観念論、ベンサムやミルの功利主義、パースやジェームズ、デュエーのプラグマティズムの基本的な知識を身に付けている。それらの思想家の原典資料を適切に読み取ることができる。	社会契約の思想、啓蒙思想、人格の尊厳に関する思想、人倫の思想、功利主義の思想、社会の発展に関する思想を通して、民主社会と個人の関係、個人と国家や法との関係について考察し、民主社会の発展のために何をすればよいかという思索を深め、適切に表現できる。	個人と社会全体の幸福について思索し、民主社会の発展のために何をすればよいかと考察しようとしている。	【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料や芸術作品などからの読み取り、定期テスト【主体的な態度】ディスカッション、レポート
			1 社会契約説と啓蒙思想	民主社会と人間の在り方や人間の尊厳、自己実現と幸福を論じた近代の諸思想を通して、善、正義、義務に着目して、自己の価値観を確立するとともに他者の価値観を尊重することの大切さを理解し、社会の在り方や人間としての在り方生き方について考察させる。					
2 人格の尊厳と自由—カント									
3 自己実現と自由—ヘーゲル									
4 幸福と功利									
5 創造的知性と幸福									
		第4節 現代社会と個人			社会主義の思想、キルケゴール、ニーチェ、ヤスパースの思想	社会主義、実存主義、現象学、現代の政治哲学、社会哲	自らが社会を形成する主体であることを自覚し、自	【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料や芸術作	

10月		5	1 資本主義社会への批判	・民主社会における人間の在り方を論じた現代の諸思想を通して、善、正義、義務などに着目し、社会の在り方と人間としての在り方生き方について考察させる。	存主義、フッサール、ハイデガー、サルトル、メルロ・ポンティ、レヴィナスらの現象学、レーヴィッド、アーレント、フランクフルト学派、ロールズ、ノージック、サンデルら政治哲学の基本的な知識を身に付けている。社会参加と生きがいの関わりを、先人の事例から読み取ることができる。それらの思想家を論じた現代の著作から現代の諸課題を適切に読み取ることが	献の具体的な事例を通して、社会と人間の在り方や世界と人間の在り方を考察し、よりよく生きていくために何が重要かについて思索を深め、適切に表現できる。	己や社会全体の幸福の実現に積極的に参加しようとする態度を身につけようとしている。	などからの読み取り、定期テスト 【主体的な態度】ディスカッション、レポート
			2 人間存在の地平—実存主義	・自己実現と幸福を論じた実存主義の思想を通して、幸福、愛、徳に着目し、人生への問いや人間の存在や価値について自己の課題と結び付けて考察させる。				
			3 世界と存在そのものへ—現象学	・世界を捉える知の在り方を論じた現象学を通して、真理、存在に着目し、世界と人間の在り方について自己の課題と結び付けて考察させる。				
			4 公共性と正義	・社会参加と奉仕を実践した先人たちの事例を通して、善、正義、義務に着目し、主体的に社会に参加することの大切さについて理解を深めさせる。				
			5 社会参加と他者への奉仕					
		3	第5節 近代の世界観・人間観の問いなおし		ベルクソン、フロイト、ユング、レヴィ・ストロース、フーコー、ドゥルーズ、デリダ、ウィットゲンシュタイン、ポパー、クワイン、クーンら思想家の基本的な知識を身に付けている。	近代の世界観・人間観を問い直した現代の諸思想を通して、世界を捉える知の在り方が時代とともに変容しうることを考察し、人間としての在り方生き方をより広い視野から多面的・多角的に思索し、適切	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について、自己の人生観や人間観と結び付けて主体的に追究しようとしている。	【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料や芸術作品などからの読み取り、定期テスト 【主体的な態度】ディスカッション、レポート
			1 理性主義への反省	近代の世界観や人間観を問い直す知見を備えた現代の諸思想を通して、真理、存在に着目し、世界と人間の在り方について考察させる。				
			2 言語論的転回					
			3 科学観の転換					
11月	第4編	12	第1章 日本の風土と精神文化		原始神道に見られる人間と自然との関わりについての意識、日本人の死生観、善悪についての道徳観、自然への感じ方を、原典資料や芸術作品を通して、適切に読み取り、理解することができる。	古代の日本人の考え方を手掛かりとして、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について、多面的・多角的に考察し、適切に表現できる。	日本人としての在り方生き方についての根源的な問いを探究することで、国際社会に生きる日本人として主体的に生きていくために必要な能力を身に付けようとしている。	【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料や芸術作品などからの読み取り、定期テスト 【主体的な態度】ディスカッション、レポート
			第1節 日本人の人間観・自然観・宗教観					
			1 風土と日本人の生活	日本人の人間観、自然観、宗教観の特質を、日本人の心情や考え方や風土との関わり、また日本的な美意識や自然との関わりに着目して、日本人としての自己意識と結び付けて、理解させる。				
			2 日本における神の観念					
			3 神と仏の出会い					
			第2節 日本人の仏教受容		日本における仏教の受容とその展開を、古代から鎌倉時代の仏教者を通して、適切に理解し説明することができる。	日本独自の仏教の受容やその思想が今日の日本人の考え方にどのような影響を及ぼしているのかを手掛かりに、国際社会に生きる日本人として	日本の思想、文化と伝統などが外来の思想や文化を受容しながら形成されたことを学習することを通して、他の文化や伝統	【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料や芸術作品などからの読み取り、定期テスト 【主体的な態度】ディスカッ
			1 古代仏教の思想	外来思想である仏教を、日本独自の受容やその思想の形成と発展を通して、それらが日本人の思想形成にどのように影響を及ぼしたかを理解させる。				
			2 鎌倉仏教の思想					
			第3節 近世社会の思想		日本の伝統思想について、儒教などの外来思想の受容や国学による古代の精神の究明などを通して、適切に理解し説明することができる。	儒教や国学、近世庶民の思想など様々な角度から日本人の人間観、自然観、宗教観を考察することを通して、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について、多面的・多角的に考察し、適切に表現できる。	日本の先哲の学習を通して、国際社会に生きる日本人としての自覚を深めるとともに、課題を追究したり解決に向けて構想したりしている。	【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料や芸術作品などからの読み取り、定期テスト 【主体的な態度】ディスカッ
			1 儒教の伝来と朱子学	・外来思想である儒教を、江戸時代における儒学諸派の形成を通して、それらが日本人の思想形成にどのように影響を及ぼしたかを理解させる。				
			2 陽明学	・古代の精神の究明に努めた国学が、古代の日本人の心情と考え方をどのように捉えたかを理解させる。				
			3 古学	・近世庶民の思想や幕末の思想が、それらが日本人の思想形成にどのように影響を及ぼしたかを理解させる。				
			4 国学と日本文化					
			5 近世庶民の思想					
			6 近代的国家への道					
		8	第2章 日本の近代化と人々の生き方		西洋文化を摂取し新しい文化や思想を形成した思想家たちを通して、現代を生きる日本人の思想形成にどのような影響を与えているかを理解させる。	西洋の思想や文化を受容する際の課題意識を自己の課題と結び付けて考える視点を働かせることを通して、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について、多面的・多角的に考察し、適切に表現できる。	国際社会における日本人としての在り方生き方の自覚を深めることで、日本人として主体的に生きていくために必要な能力を身に付けようとしている。	【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料や文芸作品などからの読み取り、定期テスト 【主体的な態度】ディスカッション、レポート
			第1節 西洋近代精神の摂取					
			1 啓蒙思想家の活動	・日本人の人間観、自然観、宗教観の特質を、民俗学の知見を手掛かりに、日本人としての自己意識と結び付けて、理解させる。				
			2 国家と個人の衝突					
			第2節 近代的個人の自覚					
			1 近代的自我の成立と個人主義					
			2 社会改革の思想					
			第3節 主体的な生き方と価値観の模索					
			1 近代日本の哲学者					
12月	国際社会に生きる日本人としての自覚							
2月								

3月	第5編 現代における諸課題の探究		2 近代日本の思想傾向への反省											
			3 現代日本と私たちの課題											
		2	第1章 自然や科学技術をめぐる諸課題							自然や科学技術との関わりにおける倫理的課題に対して、その解決に向けて、これまでの学習を通して身に付けた倫理に関する概念や理論を適切に活用できる。	生命、自然、科学技術など人間との関わりについての倫理的課題を見だし、生きることの意義、自然との調和的な共存関係、先端科学技術の利用と人間生活や社会の在り方に着目して、多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述できる。	生命、自然、科学技術など人間との関わりについての倫理的課題の探究を通して、多様な他者との対話を通して、人格の完成に向けて自己の生き方を確立しようとしている。	【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料や文芸作品などからの読み取り 【主体的な態度】ケーススタディ、ディスカッション、プレゼンテーション、レポート	
			1	環境と倫理										先哲を含む他者との対話を通して、生命、自然、科学技術など人間との関わりについて倫理的課題を見だし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述させる。
			2	生命と倫理										
		2	第2章 社会や文化にかかわる諸課題							様々な他者との協働、共生に向けた倫理的課題に対して、その解決に向けて、これまでの学習を通して身に付けた倫理に関する概念や理論を適切に活用できる。	福祉、文化と宗教、平和などについての倫理的課題を見だし、協働、ケア、共生、異文化理解、人類全体の福祉などに着目して、多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述できる。	福祉、文化と宗教、平和などについての倫理的課題の探究を通して、多様な他者との対話を通して、他者と共に生きる主体として自己を確立しようとしている。	【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料や文芸作品などからの読み取り 【主体的な態度】ケーススタディ、ディスカッション、プレゼンテーション、レポート	
			1	文化や宗教の多様性と倫理										先哲を含む他者との対話を通して、福祉、文化と宗教、平和などについて倫理的課題を見だし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述させる。
			2	国際平和と人類の福祉										